

## たった一言、ちょっとした心遣い

240214

ボランティアで職員玄関に花を生けてくださっている小野様とお話をする機会がありました。小野様は、ペアの志賀様と一緒に37年間に渡って幸田中の職員玄関を彩る生花を1ヶ月に2回のペースで生けてくださっています。その小野様が、「私たちが生ける花で、少しでも役に立っているのならそんなに嬉しいことはない」と言ってくださっていました。そんな会話の中、「通りかかった生徒さんが、『ありがとうございます』とあいさつをしてくれたり、『私、この花、好きなんです』と声を掛けてくださったりすると、ものすごく嬉しくなります。先生方の中にも『やっぱり花があると心が落ち着きますよね』と言ってくださる方もいて、自分がやっていることが役に立っている、感謝されているという気持ちになれて、やりがいを感じるんです。」とおっしゃっていました。

また、用務員の山本さんは、少し枯れかかって色の変わり始めた花弁とかを摘み取ってくれていて、生けた花が残念な状態にならないようにしてくださっている。夏には水が腐りかけてしまう前にちゃんと水を入れ換えてくださっている。本当にありがたくて、次に来た時に気持ちよく花を生けることができる。」と言ってみえました。

たった一言、ちょっとした心遣いによって、幸田中に幸せをくださっている方に対して、逆に幸せを贈ることができていたんだなと感じました。その一言、そのひと手間が大切なことを教えてもらいました。



職員玄関を彩る生花